

サービス
身知
パ

株式会社 栄久

立派な戦力として活躍できる環境整備を



社員の声



石塚 勇希さん
(入社:平成25年4月)

頑張っていることが大事だと思います

・仕事内容

クリーニングが完了したリネン(タオル・ベッドバット・タオルケットなど)の仕分けや、仕分け後のたたみ作業を担当しており、その時々の仕事量や作業員の配置を見て、人手が必要なところを自分で判断して作業に入っています。

・仕事に対する思い

仕事量や作業員によって、担当する業務を切り替えて動く必要があるため、臨機応変に動けるように意識しています。在学中は生徒会長を務めていて、生徒会活動で会議のリーダーを担当したり、地域の交流会などでいろいろな人と話をしたりなど、自分で考えて行動する機会が多かったため、その時の経験が現在の仕事に生きていると思います。

・就職を考えている障害のある方へ

最初から自分に合った仕事に就職できることは少ないと思います。そのため、仕事が見つかったとしても諦めずに頑張り続け、自分がその仕事に慣れていくといった考え方で就職活動を行うことが大切だと思います。

社員の1日のスケジュール

障害のある社員12名のうち、知的障害のある石塚さんの仕事の様子を紹介します。

- 8:50 出勤**
朝礼を行い、1日の業務や、連絡事項を確認します。
- 9:00 作業開始**
リネン仕分け業務を行います。リネンの種類を間違えないように気を付けながら取り組んでいます。
- 12:00 昼食**
休憩室でみんなと一緒に談笑しながら昼食をとります。
- 13:00 作業再開**
午前中の作業の続きを行います。勤務時間により人員配置が変わるため、人員が不足しているところを自分で判断してフォローに入ります。
- 17:10 退社**
日報を提出して退社します。



■リネン仕分け業務
クリーニングされたリネンを種類ごとに分けていきます。



■作業補助
クリーニングされたリネンを機械に通す作業の補助を行います。



■リネンたたみ業務
クリーニングされたリネンを一つ一つ手作業でたたみます。

雇用に際しての取り組み

現場からの意見を取り入れる

障害のある方の採用権は人事にあるとしても、最終的に障害のある社員が配属されるのは現場になります。そのため、現場社員から「障害のある方でもこの仕事ならできないか」など、障害のある方ができそうな作業の提案を現場からもらうようになっています。そして、その提案を元に実習や面接を行うことにより、障害のある方がスムーズに現場に入れるようになると思います。



繰り返し教える

障害のある社員に仕事を教える際は、一度に複数の業務を任せたりせずに、同じ業務を時間をかけて繰り返し教えていきます。少しずつ仕事に慣れてきて、十分に任せられるようになってから、他の仕事を教えています。覚えてできるようになるまで教え、一人でできるようになるまで見守ることを繰り返すことにより、障害のある社員ができる仕事を徐々に増やすことができると思います。



障害特性に関する情報の共有

障害の特性は人それぞれ異なるため、完璧な対応というのは難しいですが、「この障害のある方の場合、こうなってしまうことがある」といった情報を把握しているのといないのでは、対応に大きな差が出てしまいます。そのため、障害のある方を雇用する前に、障害種別やそれぞれの特性・特徴などを事業所全体で知っておく必要があると思います。



「心の壁」を無くす

人との関わり方に慣れていない障害のある社員も多く、入社後もなかなか周囲に馴染めないこともあります。そのため、社内ですべてあひさつをする、休憩時には「休みの日はどうでしたか?」などの日常会話をしながら、障害のある社員の心の壁を無くし、過ごしやすい職場環境作りを努めています。このような積み重ねもあり、入社してから退職した人はおらず、長い方で20年以上勤務してもらっています。



事業内容

株式会社栄久は、リネンサプライ業を主軸に事業展開をしています。リネンサプライ業とはシーツ、枕カバーなどの布製品(リネン)をお客様へリースする業種であり、県内外の医療関連施設、老人福祉施設、旅館・ホテル等のお客様にリネン製品を納めています。



障害のある社員の業務内容

- ・リネンたたみ業務
- ・リネン仕分け業務



障害者雇用を検討される事業所のみなさまへ

障害者雇用から見えてくる企業の「新戦力」という考え方を



工場長
星野 茂雄さん

イメージで判断をしない

障害者雇用を始める前、現場社員には障害のある方に対する知識が無かったため、「周りに溶け込めるだろうか」「孤立してしまわないだろうか」などの不安がありました。しかし、実際に雇用をしてみると、仕事を覚えてもらうまでに多少の苦労はあったものの、一度覚えてしまえば、問題なく仕事をしてくれることが分かり、今までのイメージが間違っていたと気付くことができました。

支援機関との連携

当社は障害の特性についての知識が少なかったため、支援機関に相談することから障害者雇用を開始しました。障害のある方に関する相談や事業所に合った人材の紹介、雇用後のケアなどの支援を受けることができ、大変助かっています。また、企業としてサポートが難しい生活面に関するアドバイスもいただけるため、支援機関との連携を図るべきだと思います。

■事業所データ

設立 1958年(昭和33年)
常用労働者数 219人
代表者 代表取締役
柴崎 栄一
所在地 〒370-0111
群馬県伊勢崎市
境上矢島670-2
(境上工業団地内)

TEL:0270-76-2345



■会社概要

昭和33年に邑楽郡大泉町に設立し、リネンサプライ業を中心に、県内外で幅広く事業展開をしています。

■障害のある社員の雇用状況

障害のある社員数 12人
うち重度障害のある社員数 3人

区分	身体	知的	精神
正社員			
契約社員			
パート	1人	11人	
アルバイト			